

中部シニアライフアドバイザー協会

会報

Vol.1 1994.11.11.
中部シニアライフアドバイザー協会
総務委員会広報部
〒464 名古屋市中区正樹1-2-8
(財) シニアルネサンス財団
名古屋インフォメーション内

「会報」の発刊を 祝して

(財) シニアルネサンス財団
会長 喜多村 治雄

このたび、「中部シニアライフアドバイザー協会」の「会報」を発刊されるに当り、(財)シニアルネサンス財団を代表して心からお祝い申し上げます。

今後、会員各位のお力で素晴らしい機関紙に発展することを信じ、大いに期待いたします。

去る10月2日、当協会の設立総会が名古屋高砂殿で開催され、会則の制定、福村会長はじめ役員の方々が選出されましたが、会の見事な取り運びには感心しました。

また、総会終了後のパーティーは、場所柄、実に華麗でありました。

80名に上る有能な会員諸兄姉が、時を忘れて談笑され交流の実をあげられ、果ては、カラオケで宴が盛り上がりました。

つい半年前までは、全く見知らぬ人同志が、シニアルネサンス運動への参加を機に友情を育んでゆかれる光景に接し、正直、感動いたしました。

名古屋はシニアルネサンス財団の出生の地です。元来ゆったりとしたアットホームな機縁を大事にされる土地柄のためでしょうか。誠に楽しい集まりでありました。

今後、この楽しい友情の輪を強固にかつ意義のあるものに拡大してゆくためには、協会幹部の方は勿論のこと、会員の方々すべてが、特別

に意図して、たゆまない努力をして頂くことが必要であります。

シニアの時代をどのように生きるか、生き方でその人の価値が決まる時代になりました。

一人一人で見れば、生き甲斐がある生活、生きていてよかったと思う生活をするに価値があるのです。

そして、生き甲斐は人と人との意味のある交わりの中でこそ生まれるものであり育つものだと思います。

一声かけ、二声かけられるところから人の交わりは始まります。

この「会報」は会員諸兄姉が一声二声かけてくれる場を提供してくれるであります。

いままでにはなかった場であり、これを利用しない手はありません。会員ではありませんが私も時々投稿させて下さい。

「中部シニアライフアドバイザー協会」より若干早く、関東、関西にも「シニアライフアドバイザー協会」が発足しておりますが、それぞれに目ざましい活躍が始まっております。

この「会報」はこれらの兄弟協会との交流を可能にしてくれるでしょう。誠に嬉しい限りです。

「中部シニアライフアドバイザー協会」の「会報」の発展を重ねてお祈りいたします。



「会報」発刊に際して

中部シニアライフアドバイザー協会
会長 福村 正樹

「中部シニアライフアドバイザー協会」は、SLAの皆様89名のご参加によって、去る10月2日に設立総会により結成されました。

私は設立総会のご指名により会長に就任させていただきますことになりました。微力ではございますが、協会の発展に努力して参りますので、何卒宜しくご指導ご協力の程、お願い申し上げます。

協会発足後、幹事会において次の3委員会を設置する事に決定いたしました。

総務委員会：会の総務、広報、会計に関する事項全般

研修委員会：SLA活動に必要な事項の研修会の企画、実施

地域委員会：地域活動を積極的に展開するためのネットワークづくり

この委員会活動を通して、会員皆様の交流を積極的に行い、進展する高齢化社会に役立つSLA活動を展開して参りたいと存じます。

そのためには、会員の皆様のご意見、ご要望をお聞かせ頂きながら、活動を進めて参りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

当期は、当協会の初年度であり、活動期間は6カ月と短い日数ですが、協会活動の基礎を築く大切な期間であると考えますので、会員の皆様とともに積極的に活動して参りたく存じております。

また、昨年度は「関東」本年度は「関西」「中部」の3協会が設立されましたが、全体で400名近いSLAの会員の皆様が活動されますので、SLA活動もだんだんその輪が広がっていく事と考えます。

最後に、協会設立についていろいろご指導、ご援助いただきましたシニアルネサンス財団の喜多村会長をはじめ、役職員の方々に厚く御礼申し上げます。

また準備会の皆様にも感謝申し上げます。

「中部シニアライフ アドバイザー協会」

設立経過報告

去る6月18日、SLA有志27名が発起人となり「中部シニアライフアドバイザー協会」設立準備会がスタートし、準備会の会長に福村正樹氏が推薦されました。

協会設立に先立ち、7回の会合が開かれ、7月には、準備会の呼びかけに対し、89名のSLAの方からの入会申込みがあり、同時に18名の役員立候補がありました。

10月2日、名古屋市中区の高砂殿本店で開かれた設立総会は、会員78名が出席、財団の喜多村会長、河合事務局長、関東、関西の協会会長に臨席を頂きました。

厳粛の中、議事が進行し、準備会で用意された「会則」ならびに平成6年度の「事業計画」「予算」の各案が、全員一致で承認され、役員立候補者全員が選任されました。

また閉会後は立食パーティーが催され、久々に顔をあわせたSLAの仲間同志、親睦を深めました。

なお、平成6年度選任の役員は下記のとおりです。

会長 福村 正樹
副会長 鈴木富士弥
副会長 野瀬三枝子
監査長 計
監査 深見 正子

幹事 浅野 澄子 岩瀬 哲也
大川 克己 掛札 保雄
加藤 清 鈴木八重子
田中 照夫 寺田 安正
戸田 順子 外山 晴美
松村 坦 丸山 茂樹
山下 可子

10月16日幹事会が開催され、事業計画に基づき、次の各委員会が設置され、各委員が決まりました。

委員会

- 1, 総務委員会
- 2, 研修委員会
- 3, 地区委員会

《総務委員会だより》

- 1, 委員長 大川克己
副委員長 山下可子
委員 深見正子 加藤清 鈴木富士弥
浅野澄子 長計 竹田千夜子
今泉治子 加藤恭子 殿村桂子

2, 総務委員会当面の業務

- (1) 会報の発行
- (2) 協会のPRパンフレットの編集
- (3) 名簿の作成
- (4) 会員の特技趣味等の情報整理
- (5) 会員の親睦行事の企画と運営
- (6) 協会運営上の諸規定の立案
- (7) 会計仕組みの検討

3, 総務委員会内設置部会

- (1) 広報部会
- (2) 庶務部会
- (3) 経理部会

4, 部会委員及び事務分担

- (1) 広報部会

部長 大川克己
今泉治子 加藤恭子

(分担事務) 会報, パンフレットの編集, 発行

- (2) 庶務部会

部長 加藤清
山下可子 鈴木富士弥
殿村桂子 中根祐輔

(分担事務) 名簿管理, 文書管理, その他

- (3) 経理部会

部長 浅野澄子

竹田千夜子

(分担事務) 会計業務の立案, 金銭出納

5, 当面の実施業務

- (1) 会報の発行, 総会, 幹事会報告, 委員会の報告, 委員会の発足紹介
- (2) 事務所の発足
- (3) 既存文書の整理
- (4) 新名簿の作成準備
- (5) 他委員会との協業

《研修委員会だより》

- 1, 委員長 丸山茂樹
副委員長 野瀬三枝子
委員 掛札保雄 寺田安正 鈴木八重子
戸田順子 橋本陽子 寺西みち子

◇ 以上の委員の他, 研修プログラム内容に即して, 新たな委員として, 随時ご参加いただきたく, お願い申し上げます。

2, 当面の実施計画

- (1) 1月下旬をめぐりに, 協会全体での研修会(講演会)を実施。
- (2) 研修部会活動を行うにあたり, 会員全員へのアンケートを実施整理し, 会員相互の研鑽に役立てる。
- (3) 部会のテーマとしては, SLAの資質向上を目指すものを中心として「生きがいと収入」「ボランティア活動」「人間関係」「健康」「年金・保健・財産管理」等を切り口として考える。
- (4) 各会員の能力を高め, 且つ発揮できる様な場作りの為の情報交換を行う。

◇ 以上4項目を会員全員で実施して参りたいと思いますので, 皆様ご要望, 有益と思われる情報など, 「中部シニアライフアドバイザー協会研修委員会」までお届け下さい。

3, 課題として皆様にお考え頂きたいこと。

- (1) 限られた予算内での全体研修, 部活動をどのように行うか。

(2) 部活動を活発に行うための会場の確保、事務局体制の確立

《地域委員会だより》

地域委員会委員長 田中照夫
10月2日の設立委員会の発足後、総務、研修、地域と3委員会が構成されました。

この組織を通して、SLA活動のために会員の皆様へご案内をしてみたいと思います。地域委員会と致しましては、ネットワーク作りとして、別項の通り6部会構成として、SLA地域活動の一層の活性化を図っていきたいと思っておりますので、会員皆様のご協力をお願いいたします。

地域委員会 委員長 田中照夫
副委員長 岩瀬哲也
委員 外山晴美 松村 坦
只木義子 渡辺純子
法呂美智子

部会名 (各ブロック単位で部会長選出)

| | | | | | |
|-------|-------|-------|------|------|--|
| 愛知1部会 | 緑1 1 | 南2 | 天白1 | 熱田1 | |
| | 瑞穂2 | 塩尻1 | | 計18名 | |
| 愛知2部会 | 西4 | 中村2 | 守山1 | 千種5 | |
| | 名東2 | 北2 | 中2 | 計18名 | |
| 愛知3部会 | 春日井市5 | 小牧市3 | | | |
| | 江南市2 | 犬山市1 | 瀬戸市1 | | |
| | 尾張旭市1 | 師勝市1 | | | |
| | 大口町1 | | 計15 | | |
| 愛知4部会 | 蒲都市1 | 豊橋市1 | 岡崎市1 | | |
| 地北部会 | 半田市1 | 豊田市2 | 東海市2 | | |
| 西 | 日進市3 | 三好町1 | 静岡市1 | | |
| | 知多市1 | 安城市3 | 西尾市1 | | |
| | 浜名郡1 | | 計19名 | | |
| 三重部会 | 四日市市3 | 桑名市1 | | | |
| | 亀山市1 | 松坂市1 | 鳥羽市1 | | |
| | 菰野町1 | | 計8名 | | |
| 岐阜部会 | 大垣市1 | 一宮市1 | 可児市1 | | |
| | 笠松町1 | 蟹江町1 | 佐織町1 | | |
| | 各務原市2 | 八百津町1 | | | |
| | | | 計9名 | | |

- (1) 地域活動のためのネットワーク作り
- (2) 各地域におけるシニア層に関する計画と、その実績などの実情、資料の調査入手
- (3) 各地域で展開のためのケーススタディの公開及び紹介(情報交換)
- (4) 総務委員会、研修委員会とのタイアップによる専門講師の登録と紹介
- (5) 親睦会等の開催

◇ ブロック区割については、会員の居住地により構成しましたが、地域的に無理のある方は申し出て下さい。

◇ 会員名簿により、部会単位で連絡を取り合っており、会合を至急に開催し、部会長の選出などをお願いします。

(上記については、地域委員会までご連絡下さい)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

編集後記

「中部シニアライフアドバイザー協会」の設立以来、協会の動きや今後の活動予定などを、できるだけ早く、SLAの皆様へお届けしたい思いに駆られていたましたが、このたび原稿も出揃い、予定どおりに会報V.1.1を発刊することができました。

今後は皆様の協力を得つつ、内容の充実した会報に育てていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、V.1.2は、来年2月下旬を目標としています。

SLAとしての活躍の様子や、身近な話題など、「会報」への投稿は、

「中部シニアライフアドバイザー協会広報部会」まで、よろしくお願いいたします。

大川克己
今泉治子
加藤恭子

